



平成24年5月
に賀小学校
保健室 No.8

お家の人と一緒に読んでくださいね。

2012年5月21日(月)は金環日食が見られます。

金環日食は非常に珍しい天文現象です。太陽の一部が欠けて見える日食は、数年に一度の割合で見ることができません。さらに、日食のうち太陽がリングのように見える金環日食となると、国内では1987年に沖縄で観測されて以来25年ぶり。その上、今回は本州の広い範囲で見ることができます。本州で見られるのは実に129年ぶりのことです。次回は2030年の北海道で、あと18年間は見ることはできません。

☆金環日食を観察するときの注意点

①太陽を直接見ないように十分に注意する

1秒足らずでも太陽を直接見ると、目に大きな障害が残ってしまうことがあり、失明の恐れもあります。

黒などの色のついた下敷きやサングラスを使うことも大変危険です!

安全に太陽を観察するためには、安全性が確認された専用の日食グラス等を使用することをおすすめしますが、眼に障害を起こさないためにも長時間観察しないことを心がけましょう。続けて見るのは2~3分が限度です。

もし眼に違和感や疲れなど眼の異常を感じたら、すぐに観察を中止してください。



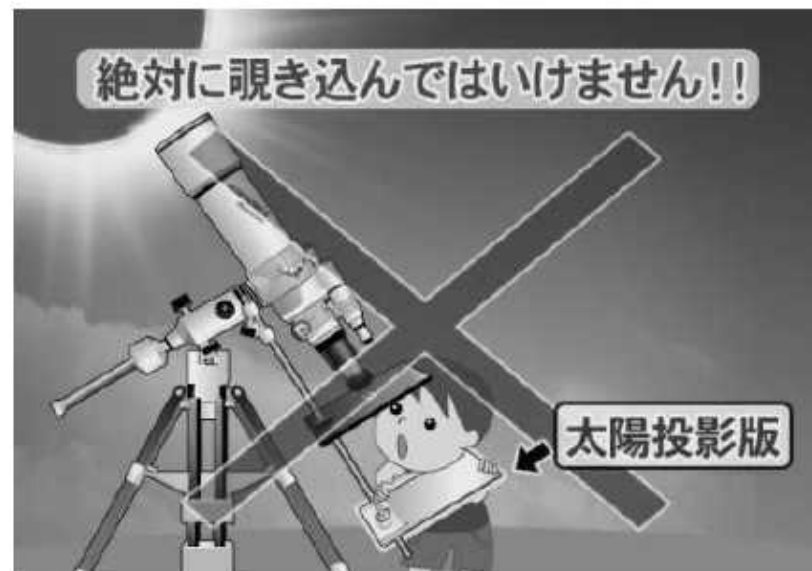
②望遠鏡、双眼鏡での観察は控えよう

金環日食をもっと楽しみたいと思っても、望遠鏡や双眼鏡での観察はタブーです。光を集めるため直接観察する以上に危険です。絶対におやめください。

日食グラスと組み合わせても絶対にいけません。

太陽投影板を使って、みんなで仲良く観察しましょう。

でも、絶対に反射した光をのぞき込まないように。



反射した光をのぞき込むと、太陽を肉眼で直接見たときと同じように、目を痛めてしまう危険性があります。また反射した光が他の人に当たらないように注意しましょう。反射した光が目にと当たると、光をのぞき込んだときと同じように、目を痛めてしまう危険性があります。

③交通事故に注意する

日食が起こる時間は、午前6時16分頃に始まり、午前7時25分頃に最大をむかえます。みなさんは登校中です。交通事故にあう可能性も高くなるので、気をつけて歩きましょう。

☆もし、目に異常を感じた時は…

もし、日食観察中や観察後に目に異常を感じたら、速やかに近くの眼科を受診してください。その際には、診断に役立つ情報として「観察方法と使用用具(裸眼だったかどうか、使用した遮光用具の種類、望遠鏡・双眼鏡の使用の有無や使用方法、等々)」、「観察時間(何分、何秒など)」を医師に正確に伝えてください。